

# 戸田市郷土博物館ビジョンの 進捗状況について

戸田市教育委員会事務局  
生涯学習課



戸田市立郷土博物館のシンボルマーク  
「ミミズクマーク」



彩湖自然学習センター（みどりパル）  
キャラクター「カマリン」  
（ミュージアムキャラクターアワード2022 全国第6位）

# 令和7年度に行った 主な取組について

- 1 郷土博物館講座の開催
- 2 デジタルミュージアムの取組
- 3 近隣学校連携展示の開催
- 4 上戸田分館とのコラボ展示
- 5 市内小学校3年生センター授業の実施

# 1 郷土博物館講座の開催

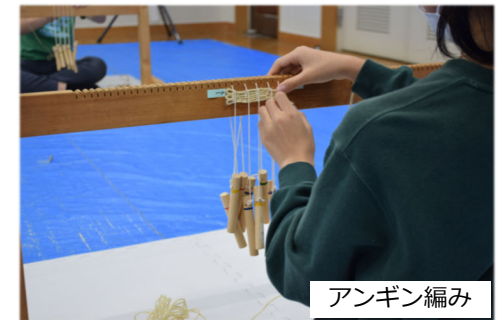
「子ども体験ひろば」をはじめとする各種講座を開催し、体験型学習や博物館施設の特性を活かした学習機会の提供を行った。

## 子ども体験ひろば



まが玉作り

内容	開催日	参加者数
火おこしにちょうせん!	6/15 (日)	19人
まが玉を作ってみよう!	8/24 (日)	12人
アングインでコースターを作ろう!	10/19 (日)	5人
昔の道具を使ってみよう① ～いなほがお米になるまで～	R8.2/15 (日)	11人
昔の道具を使ってみよう② ～すりつぶす道具・つむぐ道具～	R8.3/8 (日)	人



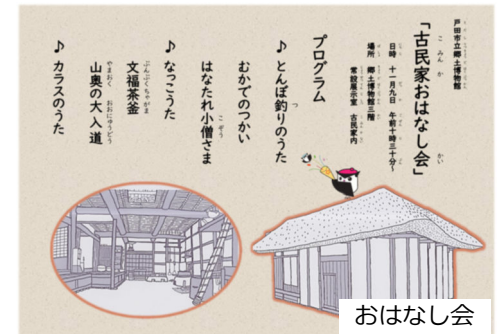
アングイン編み



おはなし会

## 古民家おはなし会

出演	開催日	参加者数 (内数)
図書館おはなし ボランティア	11/9 (日) ①AM②PM	①24人 (子供13人) ②19人 (子供7人)



おはなし会



バックヤードツアー

## 図書館・郷土博物館バックヤードツアー

共催	開催日	参加者数
戸田市立中央図書館	8/23 (日)	小学生20人



バックヤードツアー

## 2 デジタルミュージアムの取組

デジタルミュージアムの取組の一環として、考古資料について解説するデジタル冊子の公開等を行った。

### デジタル解説冊子の公開

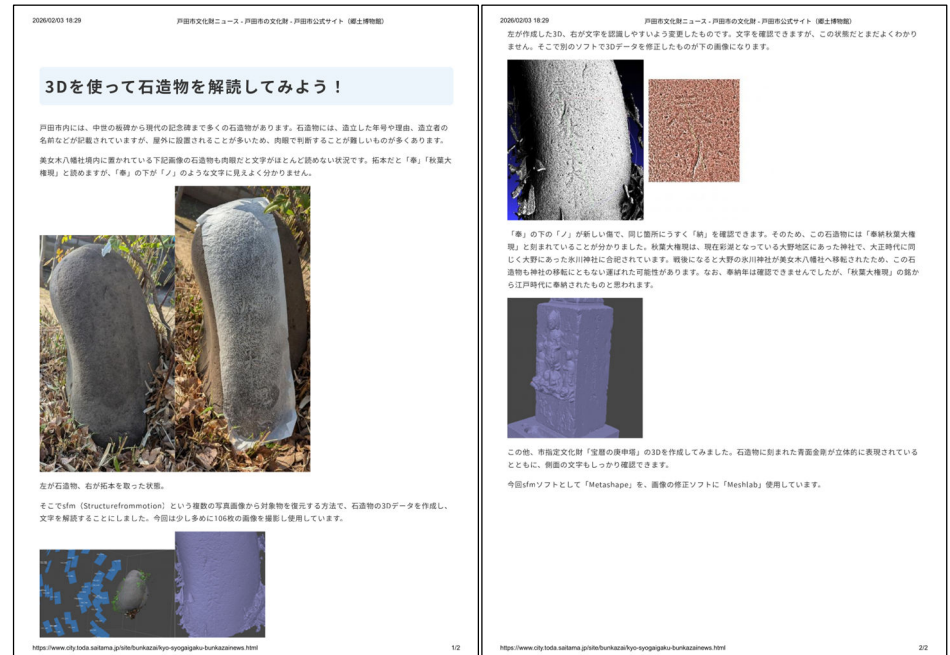
戸田市で出土した中世から近代までの考古資料を解説するデジタル冊子『「モノ」が語る三つの時代－戸田市の中世・近世・近代－』を刊行し、インターネットサイト「全国遺跡報告総覧」での公開を行った。



ダウンロード  
QRコード

### 3Dデータ作成処理の紹介

市ホームページの文化財ニュースに「3Dを使って石造物を解読してみよう！」の記事を掲載し、石造物資料の3Dデータ作成処理について紹介を行った。



### 3 近隣学校連携展示の開催

埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校との連携により、第2学年生徒たちが思い思いに制作した美術作品の展示を行い、作品に収められた生徒一人一人の個性を来館者にご覧いただくとともに、来館者がアート作品に身近に触れられる機会を提供する「アートミュージアム」機能の展開を図った。

展示の様子等

- ・ 展示名称：戸田かけはし高等特別支援学校 令和7年美術作品展～
- ・ 開催期間：令和7年11月1日（土）～11月12日（水）【11日間】
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階 特別展示室
- ・ 展示協力：埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校
- ・ 来場者数：210人

#### 【関連事業】

##### ○ 展示設営・撤収作業体験支援

日時：令和7年10月30日（木）、11月13日（木）

会場：郷土博物館 3階 特別展示室

対象：戸田かけはし高等特別支援学校2年生

内容：郷土博物館学芸員の支援のもと、作品の展示設営・撤収作業を2年生生徒が体験



## 4 上戸田分館とのコラボ展示

彩湖自然学習センター（みどりパル）と上戸田分館双方で、両館の利用促進並びに更なる自然学習の機会の提供の為、「空飛ぶ鳥の“しるし”」をテーマに実際の「野鳥に関する展示」とともに「野鳥が登場する書籍」の紹介を行うコラボ展示を実施した。

### コラボ展示@みどりパル

- ・実施時期：令和7年7月1日（水）～7月30日（木）
- ・場 所：彩湖自然学習センター 4階展示室



### コラボ展示@上戸田分館

- ・実施時期：令和7年7月1日（水）～7月30日（木）
- ・場 所：上戸田分館 展示ロビー  
(上戸田地域交流センター（あいパル）2階)



## 5 市内小学校3年生センター授業の実施

彩湖自然学習センター職員が支援し、実際に昆虫を観察したりすみかを調べたりします。※3年生理科「こん虫の育ち方」及び「動物のすみか」の両単元の学習効果をより高めます。

### センター授業実施風景

#### 【3年生センター授業実施内容】

令和7年度実績

実施時期：令和7年8月28日  
(木)～11月13日(木)

実施場所：彩湖自然学習センター  
及びその周辺

実施回数：13日間 18回  
(市内小学校全校)40クラス  
児童数 1,206人



# 令和8年度の主な取組 (予定) について

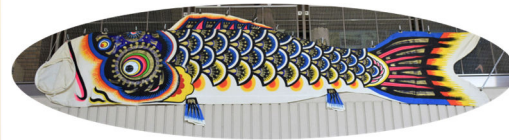
- 1 ロビー展の開催
- 2 企画展の開催
- 3 新規講座の開催
- 4 サイエンスサポートプログラム

# 1 ロビー展の開催

5月5日の「端午の節句」に合わせて、明治後期から平成初期ごろまでの五月人形、鎧飾り、手描き鯉のぼり等を紹介する。また、干支の午年にちなみ、展示資料のうち馬の人形を集めたケースや、幅広い年代の方々に楽しみながら節句の豆知識や戸田の風習について学べるミニコーナーを設ける。

3月3日の「ひなまつり」は、別名「桃の節句」ともいい、古くから女の子の健やかな成長と幸せを願って行われてきた年中行事である。そこで、「ひなまつり」の期間に合わせて、江戸後期から昭和までの雛人形や浮世人形を紹介する。

- ・ 展示名称：ロビー展「端午の節句」
- ・ 開催期間：令和8年4月21日（火）～5月6日（水）
- ・ 展示会場：郷土博物館 3階ロビー、1階エントランス
- ・ 展示名称：ロビー展「桃の節句」
- ・ 開催期間：令和9年2月20日（土）～3月7日（日）
- ・ 展示会場：郷土博物館 1階エントランス



## 2 企画展の開催

2026（令和8）年10月1日、戸田市は市制施行60年を迎える。

戸田市は、荒川下流域の低湿地帯にあり、現在でこそ交通の便もよくマンションや倉庫が多く立ち並ぶ街だが、古くは荒川での漁撈や渡船、農業等を行っていた。江戸時代にあった6か村（上戸田村・下戸田村・新曽村・惣右衛門村・下笹目村・美女木村）は、1889（明治22）年の町村合併によって戸田村、笹目村、美谷本村の3村へ、その後昭和に入り戸田町・美笹村、戦後1957（昭和32）年に戸田町となり、1966（昭和41）年埼玉県で24番目の市となる戸田市が誕生した。

本展示では、戸田市の変遷や、2016（平成28）年以降に受け入れた資料を中心に、ここ10年間に起こった特徴的なできごとである新型コロナウイルス感染症の流行、東京2020オリンピック開催における戸田市の取組等を見ていく。



### 第33回企画展 「戸田市のあゆみ～市制60年をむかえて～」 (仮称)

- ・開催期間：令和8年10月1日（木）～11月15日（日）
- ・展示会場：郷土博物館 3階 特別展示室
- ・展示構成：第1章 戸田の変遷～村から町になるまで～  
第2章 戸田市誕生  
第3章 2016年以降の主なできごと



### 3 新規講座の開催

彩湖自然学習センターでの新たな講座として「彩湖を描こう（淡彩スケッチ）」、「外来種の昆虫について学ぼう」、「彩湖の自然を撮ろう(初級編)」を実施予定。

「彩湖を描こう（淡彩スケッチ）」

実施時期：令和8年5月31日

場所：彩湖自然学習センター  
周辺

時間：10：00～12：00

参加人数：10人

「外来種の昆虫について学ぼう」

実施時期：令和8年11月21日

場所：彩湖自然学習センター  
周辺

時間：10：00～12：00

参加人数：10人

「彩湖の自然を撮ろう(初級編)」

実施時期：令和8年11月23日

場所：彩湖自然学習センター  
周辺

時間：10：00～12：00

参加人数：10人

講座写真（イメージ）



## 4 サイエンスサポートプログラム

各学校と連携して、サイエンスサポートプログラムの一層の推進を図る。

### 出張授業事例1 (小学校) イメージ



内容：魚の解剖  
対象：小学校理科授業

### 出張授業事例2 (中学校) イメージ



内容：クラブ活動補助  
対象：中学校科学部

- ・実施時期及び内容：市内小中学校と調整 時間：未定 参加人数：未定 内容：未定  
上記出張授業のほか、学校からの要望に応じた教材提供も随時実施予定